

Case.7 B邸 長崎県

《種類》 戸建て住宅
 《築年数》 10年
 《家族構成》 5人
 (50代10代男性3人,40代女性)

きっかけ

- 家族の年齢があがるとともに光熱費が増していくからです。
- 地球温暖化対策への関心が高まりました。



太陽光パネルを設置した屋根

エコリフォームの内容

- 屋根にソーラーパネルを設置
- 給湯器をガスからエコキュートに変更
- ふろの残り湯をトイレに使用できるようにポンプを設置

エコリフォームして変わったことはありますか？

- 電気使用量のわかるモニターがあることで節電を意識しやすくなりました。
- 次世代の為に資源を大切に、環境の悪化を防いでいきたいと思えます。

エコリフォーム以外に行ったリフォーム

- 壁紙とトイレの床の張り替え

エコリフォームを行う上での課題

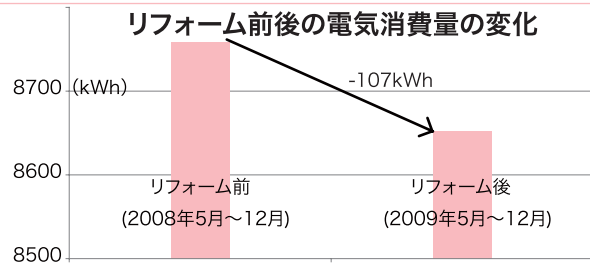
- 金銭的な面が課題でした。

他のリフォームへの関心、実施予定

- 台所も電化にしたいと考えています。
- ペアガラス、断熱材にも興味があります。

エコリフォームの満足度と実感する効果

- 省エネ、冷暖房費節約を実感できて満足しています。



ふろの残り湯をトイレに使用

エコリフォーム内容

- 断熱性能の向上
- 窓:二重サッシとりつけ

きっかけ

- 省エネルギーセンターの資料で窓からの熱出入が大きいと教えられたので自分の住宅の全ガラス窓に断熱フィルムを貼っていました。1.5年でフィルムが剥がれるので恒久的に断熱効果を上げるため二重サッシを計画しました。

エコリフォームを行う上での課題

- エコリフォーム費用が予算の2倍以上かかってしまいました。20~30万と予想していましたが、実際には約60万かかってしまいました。

エコリフォームの満足度と実感する効果

- 機密性、防音性が優れており、部の騒音が完全に防止できました。
- 部屋のステレオ音楽、テレビの音が外に漏れないため快適な居住空間が確保できました。これは予想外のことでした。

今後エコリフォームを検討する人へのメッセージ

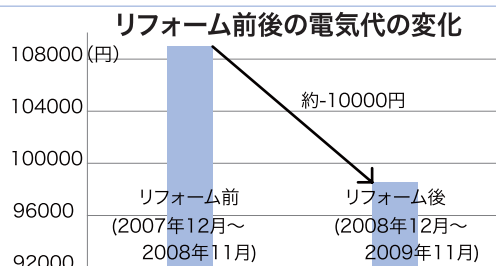
- 年寄りはこちらからできる省エネリフォームも断熱化ぐらいで、太陽光パネルを設置したくてももとがとれません。これからは若い世代に積極的にエコリフォームしてほしいと思います。



二重サッシを取り付けた窓



二重サッシを取り付けた窓



エコリフォーム内容

- 断熱性能の向上
- 窓:二重サッシとりつけ

Case.8 M邸 福岡県宗像市

《種類》 戸建て住宅
 《構造》 木造
 《築年数》 35年
 《家族構成》 2人
 (70代男性,60代女性)

工事期間中の居住状況 /リフォーム工事期間

居住しながら工事
/2009.7～(25日間)



After

工務店のエコリフォーム診断

- 西面(接道)側は線路沿いという立地のため、強い風が吹くと建物が揺れて、長年怖い思いをしていました。
- 夏場は長時間の日射により、夜間でも室内温度が下がらず、不快な思いをしていました。
- 耐震性、冷暖房効率の向上を目指してリフォームすることにしました。

省工務店のこだわりポイント

- 既存サッシは真空ペアガラスに、耐震補強によって開口部の間口を狭める場合はペアガラス仕様の断熱サッシに交換しました。
- 外壁は遮熱塗料(ガイナ)で全面塗装しました。
- 東面の一部、南面(勝手口ドアを除く)および全西面の居室開口は、雨戸がルーバー状に開閉するエコ面格子・エコ折雨戸を採用しました。



After:外部からのエコ折り雨戸



After:内部からのエコ折り雨戸

エコリフォームに関する金額は？

断熱性能の向上				
工事箇所		工事内容	工事面積 (㎡)	工期 (日)
窓	1階和室	17218外付防犯PG エコ折り雨戸付	3.1	4
	1階LD	16513防犯PG、23322-2防犯PG エコ折り雨戸付	7.3	5
	1階LD	既存1712スベ-シアPG交換 エコ面格子(2連)付	2.0	1
	1階台所	既存1707型スベ-シアPG入替(既存格子利用)	1.2	1
	1階浴室	既存1709型防犯スベ-シアPG入替	1.5	1
	2階納戸	既存1709スベ-シアPG交換+ルーバー-格子	1.5	1
	2階和室	16509PG、16518PG エコ折り雨戸付	4.5	5
	2階寝室	既存1718スベ-シアPG交換 エコ折り雨戸付	3.1	1
	2階寝室	07409PG+ルーバー-格子	0.7	2
	2階寝室	既存1709スベ-シアPG交換 エコ面格子付	1.5	1
ドア	1階勝手口	1703欄間防犯PG入替+井桁格子	-	1
日射遮蔽性能の向上				
工事箇所		工事内容	工事面積 (㎡)	工期 (日)
その他	外壁	断熱セラミックシリコン(ガイナ)塗装	165.1	4
合計金額			308万6662円	

※工事の金額は、各住宅の条件により異なります。詳細は施工業者、メーカーへお問い合わせください。

Case.9 A邸福岡県福岡市

《種類》 戸建て住宅
《構造》 木造
《築年数》 22年



After:2階和室内観



After:1階和室内観

Case.9 A邸の施工業者:株式会社 住環境工房らしんばん

所在地 :〒810-0054
福岡県福岡市中央区今川2-3-3
TEL/FAX:092(739)6381/092(739)6380
E-mail :info@rashinban.com

工事期間中の居住状況
/リフォーム工事期間

居住しながら工事
/2008.4~(12日間)

Case.10 **Sクラブ**
福岡県福岡市

《構造》 鉄骨造
《築年数》 19年

工務店のエコリフォーム診断

■折板屋根のため、居室への外気温の影響が大きく、冷暖房費の削減を目的として工事を行いました。

工務店のこだわりポイント

■折板屋根へ直接高反射断熱塗料を塗布。
■屋根自体の保護(発錆をぐ)と断熱効果を同時に考えています。



Before

エコリフォームに関する金額は? ※工事の金額は、各住宅の条件により異なります。詳細は施工業者、メーカーへお問い合わせください。

日射遮蔽性能の向上				
工事箇所	工事内容	工事面積 (㎡)	工期 (日)	日射反射率
屋上屋根	高反射断熱塗料塗布	1497	12	0.90
合計金額			500万	



After

Case.10の施工業者:株式会社黒木

《所在地》 〒812-0044
福岡県福岡市博多区千代4-1-33西鉄千代県庁ビル
《TEL/FAX》092(651)3883/092(651)3885
《E-mail》 info@eco-kuroki.com

Case.11 **M邸**
福岡県福津市

《種類》戸建て住宅
《構造》木造
《築年数》10年

エコリフォームに関する金額は?

省エネタップ
300円×6個

きっかけ

■CDプレーヤーのコンセントを入れっぱなしにするか抜くかで、妻とけんかになり、ワットアワーメーターで待機電力を計ってみる事にしました。結果、月当たり3円ほどとわかり、コンセントは刺しっぱなしにすることにしました。ついでに、家中の家電製品の待機電力を計ってみました。

計測結果

M家の家電製品の待機電力計測と対策					
機器名	待機電力(W)	円/月 (25円/kWh)	タップスイッチの回線負担(単位:月) 200円/月電気代	対応 (実施済を含む)	購入時期 (一部推定)
携帯電話充電器	0			付けっぱなし	2006
衣類乾燥機	0			使用後抜く	1989
テレビ(主電源OFF)	2.4	43.2	6.6	省エネタップ	1994
パソコン	1.5	27.0	11.1	省エネタップ	2007
ラジオ(電源ON)	0.4	9.0	3.1	省エネタップ	2007
掃除機	0			使用後抜く	1989
掃除機 (手先スイッチ有り) 衣類乾燥機のほこり取りに使用(ほぼ毎日)	1.6	32.4	9.3	省エネタップ 一斉つけるようにした。	?
さわる&付くランプ	0.3	3.6	83.3	使う時だけ	1994
扇風機	0			付けっぱなし (夏だけ)	1989
炊飯器	1.1	19.8	13.2	使用後抜く	1989
冷蔵庫	0.8	16.2	18.5	省エネタップ	2006
セラミックファンヒーター	1.2	21.6	13.9	省エネタップ	1994
石油ファンヒーター ※	1.4	25.2	11.8	付けっぱなし (冬だけ)	2003
CDプレーヤー	0.2	3.6	83.3	付けっぱなし	2007
トースター	0			付けっぱなし	2006
電子レンジ	0			付けっぱなし	2006
洗濯機	0			付けっぱなし	2000
衣類乾燥機	0			付けっぱなし	2000

※石油ファンヒーターは、スイッチを切った後、消費電力が激減するため、電源を切らない事にしました。



ホームセンターで売っています
省エネタップ



ワットアワーメーター
無料で貸出しています。

無料で貸出中

福岡県地球温暖化防止活動推進センター
所在地 :〒813-0004

福岡県福岡市東区松香台1-10-1
TEL/FAX:092-674-2360/092-674-2361
E-mail: fccca@keea.or.jp

九州・山口の戸建て住宅、集合住宅における省エネ、地球温暖化対策のリフォーム、いわゆるエコリフォームをされた方、今年の冬に予定されている方を対象に、エコリフォームコンテストを開催しました。

住宅のエコリフォームコンテスト

対象地域 九州各県、山口県

募集期間 平成21年10月1日から31日まで

募集部門

- 日曜大工で!!簡単エコリフォーム部門(ご自分で施工された事例)
- 任せて安心・快適な工務店エコリフォーム部門
- 今年の冬は快適生活!!今からエコリフォーム部門

《 謝礼として商品券5,000円をプレゼント!! 》

応募資格

- お施主様又は、工務店等よりFAX、メールでお申し込みいただく
- 主に開口部等の断熱・遮熱リフォームを実施済及び実施予定の方
 - ⇒エコリフォーム実施済の方(工務店依頼、日曜大工)
 - リフォーム前2～3年程度、リフォーム後の冬場の光熱費データを出せる方
 - ⇒エコリフォーム計画中の方
 - 今年の冬に工務店への開口部等の遮熱、断熱リフォームを依頼される方で、施工前後の各2週間(合計4週間)温度測定が可能な方

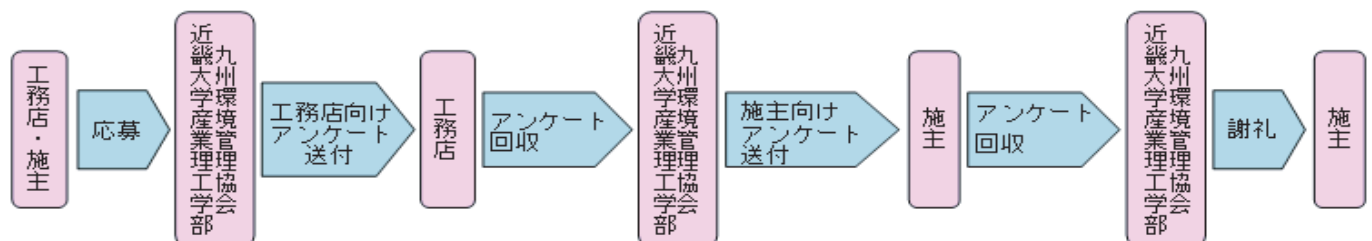
アンケート内容

お施主様向け

配布物件	エコリフォームを実施した住宅 実施予定の住宅
対象者	実施した住宅、実施予定の住宅の住民
配布日時	随 時
回収日時	記入が終わり次第
項 目	<ul style="list-style-type: none"> ■リフォームに関する内容 ■環境意識 ■家族属性

施工業者向け

対象者\	エコリフォームの施工を行った 工務店又は、企業など
項 目	<ul style="list-style-type: none"> ■応募部門 ■応募案件の所在地 ■応募者の概要 ■省エネルギーフォームの概要 ■断熱性能のまとめ ■日射性能のまとめ ■概算工事費、工期等 ■図面、写真



主催:福岡県エコ住宅・エコリフォーム推進協議会

エコポイント制度

エコポイント制度とは？

平成21年12月8日に『明日の安心と成長のための緊急経済対策』が閣議決定され、『住宅のエコポイント制度の創設』が盛り込まれました。

エコリフォーム又はエコ住宅の新築をされた方は、様々な商品・サービスと交換可能なエコポイントを取得できます。

エコポイントの発行対象となる工事期間

平成22年1月28日～平成22年12月31日

ただし・エコリフォームについては、平成22年1月1日以降に工事着手(ポイント対象工事を含む工事全体の着手)したもの
・エコ住宅の新築については、「明日の安心と成長のための緊急経済対策」の閣議決定以降(平成21年12月8日以降)に限定する

エコポイント発行の申請期限

工事種類	建て方等	ポイント発行申請の期限
エコリフォーム※	一戸建ての住宅 共同住宅等	平成23年3月31日まで
エコ住宅の 新築工事※	一戸建ての住宅	平成23年6月30日まで
	共同住宅等	平成23年12月31日まで (ただし、11階建て以上のものは 平成24年12月31日まで)

エコポイントの交換申請期限

平成25年3月31日までポイントの交換申請をすることができます。

エコポイント制度

エコリフォーム(一戸あたり300,000ポイントを限度とする。)

内窓取付け・外窓交換	大(2.8㎡～)	中(1.6㎡～2.8㎡)	小(0.2㎡～1.6㎡)
	18,000ポイント	12,000ポイント	7,000ポイント
ガラス交換	大(1.4㎡～)	中(0.8㎡～1.4㎡)	小(0.1㎡～0.8㎡)
	7,000ポイント	4,000ポイント	2,000ポイント
外壁、屋根・天井、 床の断熱改修	外壁	屋根・天井	床
	100,000ポイント	30,000ポイント	50,000ポイント
バリアフリー改修 (50,000ポイントを限度とする)	手すりの設置	段差解消	廊下幅等の拡張
	5,000ポイント	5,000ポイント	25,000ポイント

エコ住宅の新築:一戸あたり300,000ポイント

ポイントの申請方法

- ・エコポイントの申請は、対象工事完了後、事務局※の窓口(都道府県毎に設置予定)における申請、または、事務局宛に書類の郵送することにより行います。
- ・申請者は原則として住宅所有者です。個人、法人は問いません。

※事務局は公募により決定します。

ポイント交換対象商品

- ・商品券・プリペイドカード（環境寄附を行うなど環境配慮型のもの、公共交通機関利用カード）
- ・地域振興に資するもの（地域商品券、地域産品）
- ・省エネ・環境配慮に優れた商品
- ・環境寄附
- ・エコリフォーム又はエコ住宅のリフォームを行う工事施工者が追加的に実施する工事 などを予定

よくある質問

Q. エコポイント発行の対象となる住宅の所有形態や建て方形式の制限はありますか？

- A. 持ち家、賃貸住宅、一戸建ての住宅、共同住宅等の区分に関係なく、エコ住宅の新築又はエコリフォームの実施によりエコポイント発行の対象となります。

Q. エコ住宅の新築で、エコポイントを申請するときに必要な第三者の評価とはなんですか？

- A. その住宅がエコポイント発行の対象であること（表面の「対象となる工事」参照）を証明するための第三者の評価には、登録住宅性能評価機関が発行する「エコポイント対象住宅証明書」のほか、住宅性能表示制度など既存の制度を活用することもできます。詳しくは、下記問い合わせ先のホームページをご覧ください。なお、証明には所定の手数料がかかりますので各評価機関にお問い合わせください。

Q. 住宅版エコポイントの申請はいつからできますか？

- A. 事務局の選定等の所定の手続きを経た後、住宅版エコポイントの申請受付を開始することとしていますが、詳細は、今後決まる予定です。

Q. 税制特例や融資の優遇と併せて、エコポイントの申請をすることはできますか？

- A. それぞれ対象となる条件を満たしていれば、エコポイントが発行される住宅も、税制特例や融資の優遇を受けることができます。

Q. 他に国からの補助を受けている住宅もエコポイントの申請をすることはできますか？

- A. 重複しての申請をすることはできません。ただし、高効率給湯器や太陽光発電設備等に対する補助のようにポイント発生の対象となっていないものへの補助は重複しての申請ができるものもあります。

住宅版エコポイントについての相談窓口(土日、祝日も受付しています。)

0570-071-077 (受付時間 10:00～18:00)

ご利用いただけない場合 (IP電話、PHSなど)

住宅リフォーム・紛争処理支援センターにおいても相談を受付しています。

03-3261-9358 (受付時間 10:00～12:00 13:00～17:00)

ご不明な点、詳しいことは、国土交通省 または 経済産業省のホームページをご覧ください。上記の相談窓口へ直接お問い合わせください。

「エコリフォームコンソーシアム」とは？

「エコリフォームコンソーシアム」は、環境省と連携のもと、既存住宅・マンションの省CO₂化の普及を目指し、地球温暖化対策や住宅建築の関係者が連携して、エコリフォームの普及活動を進めることを目的に設立されました。

それぞれの専門知識を交換しながら、全国的な普及活動の連携の場（プラットフォーム）となり、断熱性能を向上させる技術（二重窓や断熱材）の発掘や普及促進活動など実践的な情報発信を行っています。

エコリフォームコンソーシアム <http://eco-reform-consortium.com/>

〒141-0031

東京都品川区西五反田5-2-4 レキシントン・プラザ西五反田1階

TEL:03-5719-3711

FAX:03-5719-3712

福岡県エコ住宅・エコリフォーム推進協議会とは？

■設立趣旨

この協議会は、福岡県内の地球温暖化対策を推進していく上で、家庭におけるエネルギー消費の抑制が重要課題の一つであることを踏まえ、省エネ性能の高い住宅や、省エネ性能の高い断熱材を使ったリフォーム、省エネ性能が格段に良くなった電気製品、省エネ型の給湯器類等の普及拡大を図るために、消費者に分かりやすい、効果的な省エネルギー性能情報の提供と啓発を行うことを目的としています。

※当協議会は、地球温暖化対策の推進に関する法律第26条第1項の規定に基づき地球温暖化対策地域協議会として設立した団体です。

（環境省ホームページ）<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/kyogikai/index.html>

■構成団体名

福岡県、北九州市、福岡市、九州電力(株)、西部ガス(株)、(財)福岡県建築住宅センター、無限責任中間法人日本ハイブリック建築協会、NPO法人えふネット福岡、(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、福岡県地球温暖化防止活動推進センター

事務局：福岡県地球温暖化防止活動推進センター（(財)九州環境管理協会）

連絡先

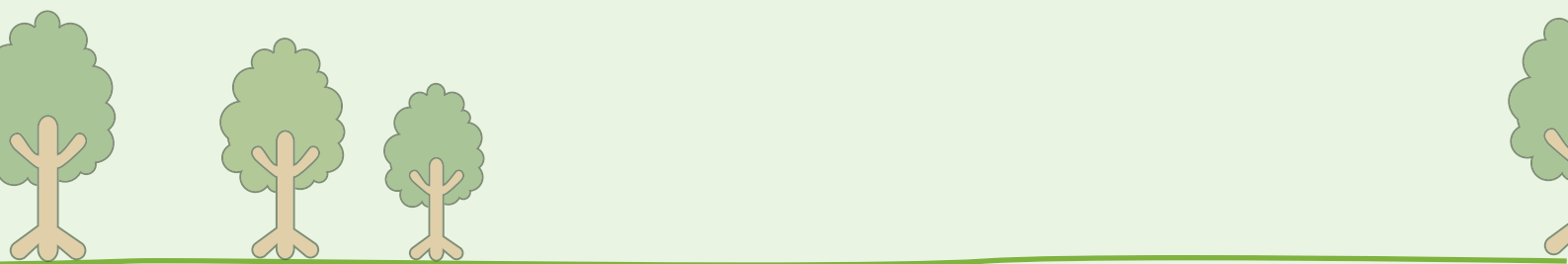
〒813-0004

福岡県福岡市東区松香台1-10-1]

TEL：092-674-2360

FAX：092-674-2361

E-mail：fcca@keea.or.jp



このガイドブックは、平成21年度エコ住宅普及促進事業(地域協議会事業)により、作成されました。

監修:依田浩敏

発行:福岡県エコ住宅・エコリフォーム推進協議会

協力:近畿大学 産業理工学部 建築・デザイン学科 宮田麻衣、三澤みか

お問い合わせ先:福岡県エコ住宅・エコリフォーム推進協議会(事務局:福岡県地球温暖化防止活動推進センター)

〒813-0004 福岡市区東区松香台1-10-1 TEL:092-674-2360 FAX:092-674-2361 E-mail : fccca@keea.or.jp

2010(平成22)年2月 発行